

様式第23号（第5条関係）

令和 6 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所在地	笠岡市用之江334
協議会名	城見地区まちづくり協議会
協議会長名	会長 藤井 清二

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）  
変更申請書（兼）実績報告書

令和 5 年 4 月 1 日付け笠岡市指令協第 288 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり交付額の変更を申請します。併せて、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

1 変更交付申請額 609,364 円  
(交付金決算額)

〔内訳〕

(単位：円)

交付決定額 ①	変更交付申請額（交付金決算額）		返還額 ④
	当該年度支出額 ②	次年度繰越額 ③	
671,000	609,364	0	61,636

2 交付金が減額変更になった理由

買物支援の利用が全くなかった事と、支出削減に努めたため。

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書（様式第24号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書  
(様式第25号又は様式第25号の1)
- (3) 支払書類（レシート等）の原本（活動ごとに取りまとめたもの）
- (4) 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- (5) その他参考となる書類

様式第24号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	1
活動名	いのしし駆除
前年からの繰越金	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	住民主体によるいのしし及び害獣による農作物の被害減少を図る。
【効果】	各地区でいのしし駆除グループが組織されることで、地域全体の一体感も深まりいのしし及び害獣の捕獲により被害が減少する。

2 実施期間

令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日  
 （計画期間 1 年中 1 年目）

3 実施場所

城見地区（茂平、用之江、大宜）

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 70 人（ア＋イ）  
 （内訳）企画運営に関わった人数： 10 人（ア）  
 その他関係人数（当日参加者等）： 60 人（イ）  
 ○団 体： （団体名） 茂平イノシシ駆除グループ ， （団体名） 用之江イノシシ駆除グループ  
 （団体名） 大宜イノシシ駆除グループ ， （団体名）

5 実施内容

広報活動（活動報告4回、決算報告1回）  
 捕獲わなの設置とその管理（巡回点検、エサの設置）  
 捕獲わなの組み立て作業  
 捕獲わなの修繕作業  
 他地区の駆除グループとの交流と情報交換

6 決算額

307,557 円（うち交付金分 307,557 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	駆除数 茂平地区：91頭、用之江地区：53頭、大宜地区：13頭 合計：157頭 駆除しても、農作物の被害はなかなか減らない。
【課題】	・令和5年度の予算が削減されたが、納得がいかないと大きな問題となった。 ・作業中にけが人が出たが、現在加入している賠償責任保険では保険料がおりなかった。 ・地区住民からいのししの出没情報があっても、箱罠の数が限られ、対応できない。

様式第25号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	1
活動名	いのしし駆除

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 311,000	307,557	3,443	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	311,000	307,557	3,443	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	0	0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費	0	0	0	〃
需用費	311,000	94,467	216,533	〃
役務費	0	144,230	△ 144,230	〃
使用料及び賃借料	0	0	0	〃
備品購入費	0	68,860	△ 68,860	〃
	0	0	0	〃
	0	0	0	〃
			0	
			0	
計	311,000	307,557	3,443	決算額のうち市交付金分 ② <u>307,557</u>

市交付金の余剰金 ①-② 3,443 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 3,443 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。





# 出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 いのしし駆除

費目 役務費 保険料

No. 1 ↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	9	25	三井住友海上	茂平賠償責任保険	5,000	5,000
2	5	9	25	三井住友海上	茂平賠償責任保険	5,000	10,000
3	5	9	25	さかもと保険	茂平地区賠償責任保険3名分	12,880	22,880
4	5	9	28	さかもと保険	大冢地区賠償責任保険4名分	17,180	40,060
5	5	9	29	さかもと保険	用之江地区賠償責任保険5名分	21,470	61,530
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						61,530	

# 出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 いのしし駆除

費目	役務費	手数料
----	-----	-----

No. 1 ↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	6	30	岡山県交通安全協会	狩猟免許更新費用収入印紙代	2,900	2,900
2	5	10	6	笠岡市役所農政水産課	狩猟者登録代	5,900	8,800
3	5	10	6	笠岡市役所農政水産課	狩猟者登録代	5,900	14,700
4	5	10	6	笠岡市役所農政水産課	狩猟者登録代	5,900	20,600
5	5	10	6	笠岡市役所農政水産課	狩猟者登録代	5,900	26,500
6	5	10	6	笠岡市役所農政水産課	狩猟者登録代	5,900	32,400
7	5	10	6	笠岡市役所農政水産課	狩猟者登録代	4,500	36,900
8	5	10	6	笠岡市役所農政水産課	狩猟者登録代	5,900	42,800
9	5	10	6	笠岡市役所農政水産課	狩猟者登録代	5,900	48,700
10	5	10	6	笠岡市役所農政水産課	狩猟者登録代	5,900	54,600
11	5	10	6	笠岡市役所農政水産課	狩猟者登録代	4,500	59,100
12	5	10	6	笠岡市役所農政水産課	狩猟者登録代	5,900	65,000
13	5	10	6	笠岡市役所農政水産課	狩猟者登録代	5,900	70,900
14	5	10	6	笠岡市役所農政水産課	狩猟者登録代	5,900	76,800
15	5	10	6	笠岡市役所農政水産課	狩猟者登録代	5,900	82,700
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						82,700	

# 出 納 簿

交付金区分                      活動交付金

活動名                              いのしし駆除

費目                              備品購入費

No.                                  1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	8	18	日本一安い罾の店	受信機6,500円発信機5台23,400税	33,550	33,550
2	5	9	10	日本一安い罾の店	暗視カメラ15,900円発信機5200円×3 税	35,310	68,860
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						68,860	

## 自己評価シート

(令和 5 年度)

No. 1

協議会名	城見地区まちづくり協議会
活動名	いのしし駆除

活動目的	住民主体によるいのしし及び害獣による農作物の被害減少を図る。
実施内容	広報活動（活動報告4回、決算報告1回） 捕獲わなの設置とその管理（巡回点検、エサの設置） 捕獲わなの組み立て作業 捕獲わなの修繕作業 他地区の駆除グループとの交流と情報交換

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	3
	活動に参加するinnで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてinnで話し合うことができたか。	4
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	4
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	2
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

<b>活動の成果</b> 駆除数 茂平地区：91頭、用之江地区：53頭、大宜地区：13頭 合計：157頭 駆除しても、農作物の被害はなかなか減らない。	<b>現状と課題</b> ・令和5年度の予算が削減されたが、納得がいかないと大きな問題となった。 ・作業中にけが人が出たが、現在加入している賠償責任保険では保険料がおりなかった。 ・地区住民からいのししの出没情報があっても、箱罾の数が限られ、対応できない。
--	---

**今後の活動の方向性・改善策**

- ・笠岡市の状況が厳しい事は理解出来るが、必要な物品は予算要求して購入する方向で考える。
- ・作業中のけがに備えて、新たに傷害保険に加入する事を検討する。
- ・活動出来る人材を増やす努力をする。

様式第24号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	2
活動名	防災安全安心
前年からの繰越金	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	防災活動を通じ、地区住民個々の防災意識の向上、知識の浸透を図る。 自主防災会や消防団と連携し、防災について学び、自助・公助の力を培う。 インターネット、SNSの弊害を学び、子ども達を守る知識の浸透を図る。
【効果】	地区住民個々の防災意識の向上と災害時の対応力を高めることができる。 活動を通じ、住民同士の助け合いの意識が生まれる。 子供と保護者がインターネット、SNS等情報社会の負の部分を知り、自身を守る力を養うことができる。

2 実施期間

令和 5 年 6 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日  
(計画期間 年中 年目)

3 実施場所

城見地区（用之江、大冨、茂平、城見台）、城見小学校体育館

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 216 人（ア+イ）  
 （内訳）企画運営に関わった人数： 16 人（ア）  
 その他関係人数（当日参加者等）： 200 人（イ）  
 ○団体： （団体名） 各地区自治会 ， （団体名） 各地区自主防災会  
 （団体名） 各地区こども会 ， （団体名） 社協城見支部

5 実施内容

- ① 個別避難計画について、各地区の自主防災会、民生委員と協議をして、速やかに進める事とした。
- ② 「我が家の避難計画」を全世帯に配布し、各世帯で避難計画や非常持ち出し品、災害伝言ダイヤルについて考えてもらった。
- ③ 「インターネット、SNSの使い方・使わせ方」について、小中学生と保護者を対象に講演会を開催した。
- ④ 城見小学校の通学路を点検パトロールして、問題点を笠岡市に報告した。破損していた啓発看板を新調した。

6 決算額

64,745 円（うち交付金分 64,745 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「我が家の避難計画」は城見地区の全世帯に配布され、防災について考えるきっかけとなった。</li> <li>・続けて実施している通学路パトロールで、問題点が徐々に改善されてきた。</li> </ul>
【課題】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援者に対する個別避難計画の地域支援者の欄を埋めることができるかどうか、不明な点が多い。</li> <li>・「インターネット、SNSの使い方・使わせ方」の講演会は、参加者が少なかった。</li> </ul>

様式第 2 5 号（第 5 条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	2
活動名	防災安全安心

【収入の部】

（単位：円）

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 70,000	64,745	5,255	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	70,000	64,745	5,255	

【支出の部】

（単位：円）

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	0	0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費	0	0	0	〃
需用費	70,000	64,745	5,255	〃
役務費	0	0	0	〃
使用料及び賃借料	0	0	0	〃
備品購入費	0	0	0	〃
	0	0	0	〃
	0	0	0	〃
			0	
			0	
計	70,000	64,745	5,255	決算額のうち市交付金分 ② <u>64,745</u>

市交付金の余剰金 ①-② 5,255 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 5,255 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。



# 出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 防災安全安心

費目 需用費 消耗品費

No. 1 ↑ドロップダウンリスト  
から選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	7	7	ユーホー伊勢丘店	ステンレスパイプ1,848円×2	3,696	3,696
2	5	9	29	モノタロウ	飛び出しくん(通学路看板)	4,719	8,415
3	5	12	1	アドハウス	通学路反射看板	28,050	36,465
4	6	1	18	ZAGZAG大门店	通学路見守り時の傷テープ	832	37,297
5	6	2	15	ZAGZAG大门店	通学路見守り時の傷テープ、ガーゼ	2,489	39,786
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						39,786	



## 自己評価シート

(令和 5 年度)

No. 2

協議会名	城見地区まちづくり協議会
活動名	防災安全安心

活動目的	防災活動を通じ、地区住民個々の防災意識の向上、知識の浸透を図る。 自主防災会や消防団と連携し、防災について学び、自助・公助の力を培う。 インターネット、SNSの弊害を学び、子ども達を守る知識の浸透を図る。
実施内容	① 個別避難計画について、各地区の自主防災会、民生委員と協議をして、速やかに進める事とした。 ② 「我が家の避難計画」を全世帯に配布し、各世帯で避難計画や非常持ち出し品、災害伝言ダイヤルについて考えてもらった。 ③ 「インターネット、SNSの使い方・使わせ方」について、小中学生と保護者を対象に講演会を開催した。 ④ 城見小学校の通学路を点検パトロールして、問題点を笠岡市に報告した。破損していた啓発看板を新調した。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	4
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	4
	活動に参加するinnで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてinnで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>「我が家の避難計画」は城見地区の全世帯に配布され、防災について考えるきっかけとなった。</li> <li>続けて実施している通学路パトロールで、問題点が徐々に改善されてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要支援者に対する個別避難計画の地域支援者の欄を埋めることが出来るかどうか、不明な点が多い。</li> <li>「インターネット、SNSの使い方・使わせ方」の講演会は、参加者が少なかった。</li> </ul>

## 今後の活動の方向性・改善策

- 要支援者に対する個別避難計画については、引き続き各地区自治会、民生委員と協力して進める。
- 「インターネット、SNSの使い方・使わせ方」の講演会は、来年度は開催しない。

様式第24号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	3
活動名	高齢者見守り
前年からの繰越金	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	自宅にこもりがちな高齢者を訪ねて、安否確認やコミュニケーションをとる。 高齢者の集う活動を紹介して、参加を促す。
【効果】	高齢者宅を訪問して、顔を見て世間話をするこゝで、状況の把握が出来て、地域で高齢者を見守る事が出来る。

2 実施期間

令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日  
(計画期間 1 年中 1 年目)

3 実施場所

城見地区（大宜、用之江、城見台、茂平）

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 450 人（ア＋イ）  
 （内訳）企画運営に関わった人数： 90 人（ア）  
 その他関係人数（当日参加者等）： 360 人（イ）  
 ○団体： （団体名） 各地区の女性団体 ， （団体名） 各4地区の福祉委員  
 （団体名） 社協城見支部 ， （団体名） 各4地区の栄養委員

5 実施内容

手土産を持ち、自宅にこもりがちな高齢者宅を訪問し、安否確認と世間話をして見守り活動をした。  
 その際、百歳体操、いききサロンなどを紹介して参加を促した。  
 用之江地区：月1回手作り弁当を届ける。 大宜：年2回手作り和菓子を届ける。 城見台：年2回日用品を届ける。  
 茂平：年2回日用品を届ける。

6 決算額

84,993 円（うち交付金分 48,172 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	定期的にも高齢者宅を訪問することで、安否確認が出来て、さらに高齢者の困りごとを把握し次の支援につなげる事が出来た。
【課題】	・各地区で支援の内容が異なるため、資金の配分が難しい。 ・物価の高騰の影響を受けて金銭的に非常に厳しい。

様式第 2 5 号（第 5 条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	3
活動名	高齢者見守り

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 49,000	48,172	828	当該年度分
その他収入	0	36,821	△ 36,821	
用之江利用者負担		18,300	△ 18,300	
用之江女性会負担		18,521	△ 18,521	
			0	
計	49,000	84,993	△ 35,993	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	49,000	84,993	△ 35,993	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	49,000	84,993	△ 35,993	決算額のうち市交付金分 ② <u>48,172</u>

市交付金の余剰金 ①-② 828 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 828 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。



# 出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 高齢者見守り

費目	<b>需用費</b>	<b>消耗品費</b>
----	------------	-------------

No.	<b>1</b>	↑ドロップダウンリストから選んでください。
-----	----------	-----------------------

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	5	25	モダンパック福山店	レジバック517円、弁当容器396円	913	913
2	5	5	29	ハピーズ笠岡美の浜店	封筒110円	110	1,023
3	5	7	17	ダイソー福山伊勢丘店	ゴムバンド110円まな板スタンド110円×2=220円	330	1,353
4	5	7	19	ユーホー笠岡店	ティッシュペーパー327円×18=5,886円	5,886	7,239
5	5	7	22	Watts大门店	キッチンタオル、アルミカップ、ミニトング、マーカー	660	7,899
6	5	7	24	コスモス福山大门店	ティッシュペーパー398円×7=2,786円	2,786	10,685
7	5	8	2	ユーホー伊勢丘店	水切り、トング、手袋	6,432	17,117
8	5	9	8	モダンパック福山店	容器607円×2=1,214円レジバック592円	1,806	18,923
9	5	9	8	モダンパック福山店	容器1,392円×2=2,784円	2,784	21,707
10	5	9	12	ダイソー笠岡	封筒110円×4=440	440	22,147
11	5	9	23	モダンパック福山店	容器	538	22,685
12	5	11	5	ユーホー笠岡店	ティッシュペーパー316円×19=6,004円	6,004	28,689
13	5	12	23	モダンパック福山店	ラップ、弁当容器	1,930	30,619
14	6	1	16	コスモス福山大门店	ティッシュペーパー508円×7=3,556円	3,556	34,175
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						34,175	

# 出 納 簿

交付金区分                      活動交付金

活動名                              高齢者見守り

費目	需用費	印刷製本費
----	-----	-------

No.	1	↑ドロップダウンリストから選んでください。
-----	---	-----------------------

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	5	20	ユーホー伊勢丘店	コピー用紙404円×2=808円インク4,157円	4,965	4,965
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						4,965	

## 自己評価シート

(令和 5 年度)

No. 3

協議会名	城見地区まちづくり協議会
活動名	高齢者見守り

活動目的	自宅にこもりがちな高齢者を訪ねて、安否確認やコミュニケーションをとる。 高齢者の集う活動を紹介して、参加を促す。
実施内容	手土産を持ち、自宅にこもりがちな高齢者宅を訪問し、安否確認と世間話をして見守り活動をした。 その際、百歳体操、いききサロンなどを紹介して参加を促した。 用之江地区：月1回手作り弁当を届ける。 大宜：年2回手作り和菓子を届ける。 城見台：年2回日用品を届ける。 茂平：年2回日用品を届ける。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	3
	活動に参加するinnで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	4
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてinnで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	定期的な高齢者宅を訪問することで、安否確認が出来て、さらに高齢者の困りごとを把握し次の支援につなげる事が出来た。	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区で支援の内容が異なるため、資金の配分が難しい。</li> <li>物価の高騰の影響を受けて金銭的に非常に厳しい。</li> </ul>
今後の活動の方向性・改善策			
<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区の代表者とよく話し合い、支援の内容や資金の配分について考えて、皆が納得する方法を見つける。</li> <li>利用者負担金の値上げも考慮する。</li> </ul>			

様式第24号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	4
活動名	買い物支援
前年からの繰越金	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	近くに買い物をする店舗がない、車が運転出来ない等の理由で、買い物が出来ない高齢者を支援する。
【効果】	交通手段のない高齢者が店に行き買い物を楽しむことにより、生き生きと過ごすことができ、住み慣れた地域でいつまでも住み続ける事ができる。

2 実施期間

令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日  
 (計画期間 1 年中 1 年目)

3 実施場所

城見地区（大冨、用之江、茂平、城見台）

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 10 人（ア+イ）  
 （内訳）企画運営に関わった人数： 10 人（ア）  
 その他関係人数（当日参加者等）： 0 人（イ）  
 ○団体： （団体名） 各4地区民生委員 ， （団体名） 各地区女性団体  
 （団体名） 各4地区老人会 ， （団体名）

5 実施内容

毎月2回、各地区のお世話係が希望者を募り、まちづくり協議会事務局に連絡し、事務局はタクシーを手配する。タクシーは城見地区内を巡回して、買い物支援を受ける方々の自宅近くの集合場所までお迎えに行き、笠岡マルナカへ行く。帰りは荷物があるので、出来るだけ自宅近くまで送る。

6 決算額

0 円（うち交付金分 0 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	利用者が全くいなかった。
【課題】	社協の生活支援サポーター制度より利用料金が高額のため、利用者がいなかったのではないかと考える。

様式第25号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	4
活動名	買い物支援

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 48,000	0	48,000	当該年度分
その他収入	32,000	0	32,000	
利用者負担金	32,000		32,000	40人×800円（使用料及び賃借料に充当）
			0	
			0	
計	80,000	0	80,000	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費		0	0	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料	80,000	0	80,000	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	80,000	0	80,000	決算額のうち市交付金分 ② <u>0</u>

市交付金の余剰金 ①-② 48,000 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 48,000 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

## 自己評価シート

(令和 5 年度)

No. 4

協議会名	城見地区まちづくり協議会
活動名	買い物支援

活動目的	近くに買い物をする店舗がない、車が運転出来ない等の理由で、買い物が出来ない高齢者を支援する。
実施内容	毎月2回、各地区のお世話係が希望者を募り、まちづくり協議会事務局に連絡し、事務局はタクシーを手配する。タクシーは城見地区内を巡回して、買い物支援を受ける方々の自宅近くの集合場所までお迎えに行き、笠岡マルナカへ行く。帰りは荷物があるので、出来るだけ自宅近くまで送る。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	3
	活動に参加するinnで話し合い活動計画を立てることができたか。	2
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	2
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	2
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	2
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	2
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	2
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	2
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてinnで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	1
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	2
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	1
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	2

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果 利用者が全くいなかった。	現状と課題 社協の生活支援サポーター制度より利用料金が高額のため、利用者がいなかったのではないかと考える。
-----------------------	--

## 今後の活動の方向性・改善策

今年度は利用者が全くいなかったため、来年度以降は買い物支援活動は中止する事とする。

様式第24号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	5
活動名	花いっぱい運動
前年からの繰越金	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	地域の道路沿いの花壇や公共施設の花壇に花を植栽して、地区内に潤いを与える。
【効果】	活動を通して、地区内住民同士のつながりが生まれる。 地区内の景観保持や住環境の改善につながる。

2 実施期間

令和 5 年 6 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日  
(計画期間 年中 年目)

3 実施場所

城見地区（茂平、大宜、用之江、城見台）

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 89 人（ア＋イ）  
 （内訳）企画運営に関わった人数： 9 人（ア）  
 その他関係人数（当日参加者等）： 80 人（イ）  
 ○団体： （団体名） 各地区女性団体 ， （団体名） 各4地区老人会  
 （団体名） ， （団体名）

5 実施内容

各地区で花を植栽している団体に対して花苗代を助成する。  
 大宜地区は、今年度から集会所の花壇に花苗を植えた。  
 小学生、保育園児と共に用之江地区で種まきをした。

6 決算額

56,397 円（うち交付金分 56,397 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	茂平地区、城見台地区、大宜地区の花壇は荒れることなく、手入れが行き届き、住民からも好評である。 用之江地区の耕作放棄地だった場所は、四季の花が次々と咲き、国道や電車からも鑑賞できて、評判となっている。
【課題】	花苗を植栽した後の水やりなどの手入れが大変になっている。

様式第 2 5 号（第 5 条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	5
活動名	花いっぱい運動

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 57,000	56,397	603	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	57,000	56,397	603	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	57,000	56,397	603	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	57,000	56,397	603	決算額のうち市交付金分 ② <u>56,397</u>

市交付金の余剰金 ①-② 603 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 603 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

# 出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 花いっぱい運動

費目	需用費	消耗品費
----	-----	------

No. 1 ↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	6	10	茂平百笑会	花苗50円×200=10,000円消費税1,000円	11,000	11,000
2	5	12	4	ヴィレッジ興産	花苗100円×12=1,200円、60円×120=7,200円消費税840円	9,240	20,240
3	5	12	4	ヴィレッジ興産	花苗50円×16=800円、60円×93=5,580円	6,380	26,620
4	5	12	21	茂平百笑会	花苗50円×50、100円×50、60円×100、消費税1,350円	14,850	41,470
5	6	2	24	農家の店しんしん	種	14,927	56,397
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						56,397	

## 自己評価シート

(令和 5 年度)

No. 5

協議会名	城見地区まちづくり協議会
活動名	花いっぱい運動

活動目的	地域の道路沿いの花壇や公共施設の花壇に花を植栽して、地区内に潤いを与える。
実施内容	各地区で花を植栽している団体に対して花苗代を助成する。 大宜地区は、今年度から集会所の花壇に花苗を植えた。 小学生、保育園児と共に用之江地区で種まきをした。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	3
	活動に参加するinnで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてinnで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

<b>活動の成果</b> 茂平地区、城見台地区、大宜地区の花壇は荒れることなく、手入れが行き届き、住民からも好評である。 用之江地区の耕作放棄地だった場所は、四季の花が次々と咲き、国道や電車からも鑑賞できて、評判となっている。	<b>現状と課題</b> 花苗を植栽した後の水やりなどの手入れが大変になっている。
---	--

**今後の活動の方向性・改善策**

- ・金浦中学校生徒が地域学の一貫で花を植えたいと言っているので、地域の人と一緒に活動するようにしたい。
- ・花苗を植えた後の手入れを手伝える人を探す。

様式第24号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	6
活動名	大見山整備
前年からの繰越金	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	平成30年の西日本豪雨により崩落した大見山の登山道の整備を再開して、新年登山イベント及び地区民のリクリエーションや憩いの場とする。 イノシシ駆除活動の作業道とする。
【効果】	4地区有志による合同の整備作業や新年登山イベントにより、相互交流やコミュニティの広がりができる。 また、安全にイノシシ駆除ができる。

2 実施期間

令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日  
(計画期間 1 年中 1 年目)

3 実施場所

大見山（用之江側登山道、茂平側登山道、頂上）

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 109 人（ア+イ）  
 （内訳）企画運営に関わった人数： 9 人（ア）  
 その他関係人数（当日参加者等）： 100 人（イ）  
 ○団体： （団体名） 大見山を愛する会 ， （団体名）  
 （団体名） ， （団体名）

5 実施内容

大見山登山道（用之江側登山道、茂平側登山道）と頂上の草刈り、雑木伐採及び落ち葉清掃：3回  
 大見山頂上展望台のペンキ塗：1回  
 大見山頂上トイレ掃除：2回  
 小学生の登山：1回  
 新年登山：1回 60名参加

6 決算額

132,493 円（うち交付金分 132,493 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	新年登山は、西日本豪雨以来5年ぶりの復活イベントであったが、昨年に続いて今年も多くの方が参加された。 登山道の途中や頂上から自分達が住んでいる地区の様子を眺めて、ふるさとの良さを感じる事ができた。 保育園の年長組も頑張って上ってくれた。
【課題】	登山道整備をしている有志の方々の高齢化で、今後も続いていけるかが問題である。

様式第25号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 城見地区まちづくり協議会

活動No	6
活動名	大見山整備

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 136,000	132,493	3,507	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	136,000	132,493	3,507	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	136,000	124,163	11,837	〃
役務費		8,330	△ 8,330	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	136,000	132,493	3,507	決算額のうち市交付金分 ② <u>132,493</u>

市交付金の余剰金 ①-② 3,507 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 3,507 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

# 出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 大見山整備

費目 需用費 食糧費

No. 1 ↑ドロップダウンリスト  
から選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	4	8	コスモス福山大門店	お茶59円×11=649円、1,416円どら焼き99円×17=1,683円バナナ1,648円	6,638	6,638
2	5	12	2	コスモス福山大門店	お茶1,798円バナナ128円×13=1,664円パンなど	7,188	13,826
3	5	12	13	コスモス福山大門店	菓子496円216円バナナ158円×2=316円	1,110	14,936
4	5	12	24	コスモス福山大門店	カップ麺118円×78=9,204円	9,204	24,140
5	5	12	27	コスモス福山大門店	甘酒 298円×3=894	894	25,034
6	6	1	7	エブライ津高店	みかん1,980円×2=4,276円消費税316円	4,276	29,310
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						29,310	

# 出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 大見山整備

費目 需用費 消耗品費

No. 1 ↑ドロップダウンリスト  
から選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	4	8	ホリデイ株式会社	混合油1,780円×2=3,560円オイル3,280円	7,524	7,524
2	5	11	10	モノタロウ	展望台用塗料3,480円消費税3,490円	38,390	45,914
3	5	11	21	ダイソー笠岡	80バケツ110円×4=440円はけ110円×5=550円	990	46,904
4	5	11	22	ホリデイ株式会社	ローラー137円×2=274円消費税27円	301	47,205
5	5	12	1	ホリデイ株式会社	木材360円×6=2,160円替刃3,680円×4=14,720円など	44,998	92,203
6	5	12	24	Watts大门店	割りばし110円×3=330円紙カップ110円×3=330円	660	92,863
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						92,863	



# 出 納 簿

交付金区分                      活動交付金

---

活動名                              大見山整備

---

費目	役務費	保険料
----	-----	-----

No.	1	↑ドロッパダウンリストから選んでください。
-----	---	-----------------------

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	4	7	さかもと保険	障害・旅行保険	2,000	2,000
2	5	12	1	さかもと保険	障害・旅行保険	5,880	7,880
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						7,880	



# 自己評価シート

(令和 5 年度)

No. 6

協議会名	城見地区まちづくり協議会
活動名	大見山整備

活動目的	平成30年の西日本豪雨により崩落した大見山の登山道の整備を再開して、新年登山イベント及び地区民のリレクレーションや憩いの場とする。 イノシシ駆除活動の作業道とする。
実施内容	大見山登山道（用之江側登山道、茂平側登山道）と頂上の草刈り、雑木伐採及び落ち葉清掃：3回 大見山頂上展望台のペンキ塗：1回 大見山頂上トイレ掃除：2回 小学生の登山：1回 新年登山：1回 60名参加

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	3
	活動に参加するinnで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてinnで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

<b>活動の成果</b> 新年登山は、西日本豪雨以来5年ぶりの復活イベントであったが、昨年 に続いて今年も多くの方が参加された。 登山道の途中や頂上から自分達が住んでいる地区の様子を眺めて、ふる さとの良さを感じる事ができた。 保育園の年長組も頑張って上ってくれた。	<b>現状と課題</b> 登山道整備をしている有志の方々の高齢化で、今後も続いてい けるかが問題である。
--	--

<b>今後の活動の方向性・改善策</b> 大見山を愛する会に、若い世代の人材を誘い、一緒に活動出来るようにする。
---